



2008年度 第3四半期決算概要

- I. 第3四半期 連結業績概要
- II. 主要商品・デバイスの状況
- III. 2008年度 連結業績見通し
- IV. 業績改善対策
- V. 最後に

SHARP

I. 第3四半期 連結業績概要

売上高(10～12月)

(単位:億円)

	2007年度 第3四半期	2008年度 第3四半期	
			前同比
売上高	9,212	7,351	79.8%

- 市場価格の下落影響額 -1,755億円
- 為替影響額 -741億円

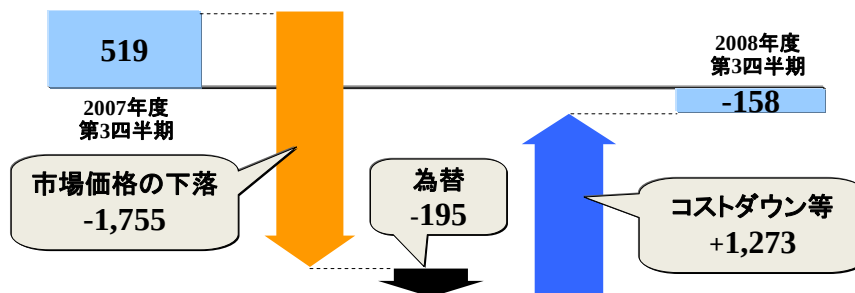
	2007年度 第3四半期	2008年度 第3四半期
米ドル	112.19円	95.32円
ユーロ	162.36円	125.25円

SHARP

営業利益増減要因(10～12月)

(単位:億円)

	2007年度 第3四半期	2008年度 第3四半期	
			前同比
営業利益	519	-158	-
利益率	5.6%	-2.2%	



SHARP

主な特別損失の項目(10～12月)

(単位:億円)

	2008年度 第3四半期
投資有価証券評価損	433
事業構造改革費用	217
独禁法関連損失	120

SHARP

経常利益・四半期純利益(10～12月)

(単位:億円)

	2007年度 第3四半期	2008年度	
		第3四半期	前同比
経常利益 利益率	486 5.3%	-158 -2.2%	-
四半期純利益 利益率	295 3.2%	-658 -9.0%	-

SHARP

売上高・営業利益(4～12月累計)

(単位:億円)

	2007年度	2008年度	
	第3四半期累計	第3四半期累計	前同比
売上高	25,620	22,975	89.7%
営業利益	1,310	348	26.6%
利益率	5.1%	1.5%	

SHARP

経常利益・四半期純利益(4～12月累計)

(単位:億円)

	2007年度	2008年度	
	第3四半期累計	第3四半期累計	前同比
経常利益	1,207	216	18.0%
利益率	4.7%	0.9%	
四半期純利益	729	-378	-
利益率	2.8%	-1.6%	

SHARP

部門別売上高(10～12月)

部門別売上高は、セグメント(エレクトロニクス機器・電子部品等)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

(単位:億円)

		2007年度 第3四半期	2008年度	
			第3四半期	前同比
	AV・通信機器	4,550	3,732	82.0%
	健康・環境機器	595	490	82.4%
	情報機器	1,009	815	80.8%
	エレクトロニクス機器	6,154	5,038	81.9%
	液晶	3,066	2,426	79.1%
	太陽電池	320	378	118.1%
	その他電子デバイス	966	724	75.0%
	電子部品等	4,353	3,529	81.1%

SHARP

部門別売上高(4～12月累計)

部門別売上高は、セグメント(エレクトロニクス機器・電子部品等)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

(単位:億円)

		2007年度 第3四半期累計	2008年度	
			第3四半期累計	前同比
	AV・通信機器	12,524	10,608	84.7%
	健康・環境機器	1,888	1,703	90.2%
	情報機器	3,088	2,699	87.4%
	エレクトロニクス機器	17,501	15,011	85.8%
	液晶	8,565	8,784	102.6%
	太陽電池	1,002	1,309	130.6%
	その他電子デバイス	2,893	2,555	88.3%
	電子部品等	12,461	12,649	101.5%

SHARP

部門別営業利益(10～12月)

(単位:億円)

		2007年度 第3四半期	2008年度 第3四半期	前同比
	AV・通信機器	130	-223	-
	健康・環境機器	7	5	72.8%
	情報機器	83	32	38.9%
	エレクトロニクス機器	220	-185	-
	液晶	244	55	22.6%
	太陽電池	-19	-35	-
	その他電子デバイス	71	-4	-
	電子部品等	295	15	5.1%

SHARP

部門別営業利益(4～12月累計)

(単位:億円)

		2007年度 第3四半期累計	2008年度 第3四半期累計	前同比
	AV・通信機器	312	-184	-
	健康・環境機器	13	26	187.4%
	情報機器	226	164	72.9%
	エレクトロニクス機器	552	6	1.2%
	液晶	616	319	51.8%
	太陽電池	-70	-13	-
	その他電子デバイス	180	34	19.2%
	電子部品等	726	340	46.9%

SHARP

設備投資・減価償却費・研究開発費(4～12月累計)

(単位:億円)

	2008年度	
	第3四半期累計	前同比
設備投資	2,386	87.0%
減価償却費	2,009	104.4%
研究開発費	1,570	100.0%

SHARP

Ⅱ. 主要商品・デバイスの状況

(単位:億円、万台)

	2008年度					
	10～12月	前同比	4～12月 累計	前同比	通期見通し	前年比
液晶カラーテレビ	2,049	80.4%	5,834	91.4%	7,300	89.7%
台数	289	112%	767	121%	1,000	121%
液晶 ※	2,426	79.1%	8,784	102.6%	10,600	85.9%
携帯電話・ 通信融合端末	1,153	73.0%	3,470	70.2%	4,400	67.6%
台数	260	72%	802	69%	1,070	71%
太陽電池 ※	378	118.1%	1,309	130.6%	1,700	112.6%

※セグメント(エレクトロニクス機器・電子部品等)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

Ⅲ. 2008年度 連結業績見通し

(単位: 億円)

	前回発表予想		今回修正予想		
	(08/10/6)	前年比		前年比	前回発表との 差額
売上高	34,200	100.1%	29,000	84.9%	-5,200
営業利益	1,300	70.8%	-300	-	-1,600
経常利益	1,000	59.4%	-500	-	-1,500
当期純利益	600	58.9%	-1,000	-	-1,600

SHARP

2008年度 特別損益の見通し

(単位: 億円)

特別利益合計	187
投資有価証券評価損	433
たな卸資産評価損	76
事業構造改革費用	500
独禁法関連損失	120
その他	58
特別損失合計	1,187
特別損益	-1,000

SHARP

IV. 業績改善対策（1）

液晶工場の再編

- 三重第1工場・天理工場の一部生産ラインの閉鎖
- 各ラインにおける生産品目、パネルサイズの最適化
- 工場集約による収益の改善

人員体制見直し

- 成長事業分野及び営業・サービス部門の体制強化
- 国内の非正規社員 1,500人削減（契約を延長せず）

SHARP

IV. 業績改善対策（2）

固定費・総経費削減

- 固定費 1,000億円削減
- 総経費 2,000億円削減

新しいビジネスモデルへ向けて

- 前半工程の現地化
- 世界有力現地企業とのアライアンス
- 投資額の最小化による投資効率の最大化と
キャッシュ・フローの改善

SHARP

V. 最後に

期末配当予想 7円(従来:14円)

役員報酬の減額等

＜月額報酬＞(2009年3～9月)

- ・取締役及び執行役員 30～5%減額
- ・監査役 5%自主返上

＜賞与＞

- ・2009年6月の賞与ゼロ

実質年収
50～30%
減額

(取締役及び監査役については、2009年6月に召集する定時株主総会への賞与支給議案の上程はいたしません。)

管理職の年収 20～10%減額

SHARP

【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社(以下、総称して「シャープ」という)の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 急速な技術革新の中で、シャープが顧客に受け入れられる製品やサービスを提供し続けていく能力
- (5) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き

SHARP